

令和5年度（2023年度）第3回北区まちづくり懇話会 会議録

【日 時】 令和6年（2024年）2月27日（火）午後2時～午後4時

【場 所】 北区役所2階第2・3・4会議室

【出席委員（敬称略、五十音順）】

荒木善光、白石幸春、徳永親、戸野口庄子、東信義
堀史、丸山泰、宮村聡、山崎雄三 以上、9名

【傍 聴】 なし

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 説明事項および意見交換
 - (1)北区まちづくり方針の策定
 - (2)地域カルテの策定について
- 4 閉会

会長挨拶

本日は今年度最後になると思いますが、来年度から始まるまちづくりの方針、カルテ策定についての皆さんの意見を出していただき、案の確定をしていくという段階となっている。今回の懇話会に関しては、事前に皆さんに素案の資料をお送りし、意見をたくさんいただいている。それも踏まえてご指摘を盛り込んだ資料となっている。来年度からの新しいスタートに向けて皆さんのご意見をお願いしたいと思う。よろしく申し上げます。

まずは北区まちづくり方針の策定を事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料1 次期総合計画(素案)について

資料2 北区まちづくり方針(案)

を説明

(東委員)

住環境の中の公共交通の利便性の問題が北区にとって大きな問題だと思う。12月の市議会でも「北区の公共交通の今後について」と質問があっている。特に北区は広いので、北区の公共交通の利便性についても取り上げていただきたい。

(事務局)

現在北区ではコミュニティタクシーや、ゆうゆうバスが走っている。来年度については現在南区で導入されている「AI デマンドタクシー」を北区に導入し、地域コミュニティの維持、公共交通の利便性の維持を図ろうとしている。重要な視点であるので住環境の方針の中に入れることを検討する。

(丸山会長)

交通問題に対しての取組として、5区均等に割り振られているのか北区に集中して配分されているのか

(事務局)

現在、南区で行われており、次が北区という順番になっている意味では特化した取組といえる

(丸山会長)

熊本市全体でも北区の問題として認識してもらっているという理解でよろしいか

(事務局)

はい

(戸野口委員)

ゆうゆうバスの代わりに AI デマンドタクシーになるのか

(事務局)

そういうことではないと担当課からお聞きしている

(戸野口委員)

ゆうゆうバスの今後について、いつ決定されるのか

(事務局)

今年度末に行われる公共交通の審議会にて決定されるとお聞きしている

(東委員)

こどもの分野において、「若者」は入らないのか

(事務局)

総合計画にも「こどもが輝き、若者が希望を抱く」とあるので、方針について検討させていただく

(白石委員)

熊本市の総合計画においてビジョンの最初にこどもについて記述がある。北区まちづくり方針についても2番目に掲げている。何か意味があるのか

(事務局)

区におけるまちづくりにおいて、1番は自主自立のまちづくり、市民協働のまちづくりである。そのために各まちづくりセンターがあつて地域担当職員を配置してまちづくりを進めているところもある。このため、方針の一番上に地域コミュニティをもってきている。

(堀委員)

こども分野のこどもに「やさしいまち」とあるが、具体的になんだろうかと思った。必要な文言としては「地域全体でこどもを育てるやさしさ」ではどうかと思う。

(事務局)

我々区役所としてもまちづくりを進めるにあたりこどもたちを地域で支える視点は特に大事だと考える。検討させていただく。

(東委員)

こどもにやさしいまちはどのようなものかと考えたとき、現実的には学童保育の問題があるのではないか。具体的に書いた方がいいと思う。

(丸山会長)

方針を受けて来年度から取組をやっていくにあたり、現時点北区で行っているこどもに対する取組があれば教えていただきたい。

(事務局)

区役所として、予算を使って行っている取組は「こどもまつり」となる。市としての取組は教育、医療費の支援等多岐に渡ると思う。

(丸山会長)

現状、区としてはこどもまつりがある。熊本市全体として様々な施策があるということ。いま、やっと方針が出来上がりつつあるので、これを受けて具体的にどういうことをするのかという議論を来年度進めていくことになると思う。そうすればこの方針を作った意味も出てくる。

(東委員)

こどもまつりのようなイベントどんどんやっていただきたい。残念ながら私たちの地区からの参加は少なかったように思う。ただやさしいまちづくりのイベントとして優れていると思うので今後もお願いしたい。

(徳永委員)

こどもたちに対して本当にやさしいまちづくりができていくかという点で疑問に思うことがある。各地の小さい公園の入口に注意喚起の看板がある。いったいどう公園を使えばいいのかと思う。こどもたちに本当にやさしい公園になっているのか。ボール遊びに支障がでるなら少しフェンスを高くするなど身近なことからできないかと思う。火を使っていけないなら電気を使えるような仕組みにするなど、より活用してもらおう支援策を考えた方がよいと思う。

(丸山会長)

今後へのご意見として検討をお願いします。

(荒木副会長)

北区まちづくり方針と地域カルテを連動させて総合的なマネジメントによるまちづくりを推進すると説明があったが、総合的なマネジメントというのがどのような形で行うのか具体的に伺いたい。また、地域カルテを作るために、まちづくり方針を経年的に他の地区と比較しながら、評価の指標として何かしらの目標値も今後検討されてはいかかと思う。もう一点、健康福祉の分野で健康カルテの記述があるが健康カルテと地域カルテがどのように連動していくか伺いたい。

(丸山会長)

今回新たに地域カルテを作っていただいて、方針を数字なりでチェックをしていただいてよりよいまちづくりに繋げましょうというスタートなので、この

時点で目標値を設定するのは難しいかと思う。まずはデータ数字の整理をしていただいてその計画を8年間でまわしていくということなので、できるだけ早い段階で数字を整理して、8年後の2031年度に北区の目標数値いくつかでも共有できれば、それに向かって進んでいただきたい。方針に基づく年度ごとのプランが、「どの方針とどう結びついているか」「どう結びついていくか」その結果「この数字がこう変わりました」というカルテのチェックをしていく。その中で改善していないならば施策を考え直すというPDCAが回っていくと考える。できれば総合計画の中間年くらいまでに1回まわせるくらいの計画にさせていただいてそれをこの懇話会でチェックさせていただく。その形でより良いものを作っていければと思う。

(事務局)

ご意見ありがとうございました。会長副会長おっしゃられた通りだと思います。方針資料2左に書いております「7つの重点目標」について経年変化を見ていき、他の区と比較して「この点は北区が少し劣っている」など見えてくる。ご意見ありがとうございました。

(丸山会長)

それでは次に移りたいと思います。

(2)地域カルテの策定について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料2 地域カルテの項目

資料3 地域カルテの構成について

資料4 校区自治協議会からのご意見を踏まえた「地域カルテ」の項目についてを説明

(白石委員)

誰でも見てわかるようなアンケートに基づく経年的な変化のデータは載せることできるのか。例えば地域コミュニティの部分なら「地域の活動に参加されましたか」。こども分野なら「北区はこどもにやさしいまちと思いますか」など。

(丸山会長)

地域カルテには無味乾燥的な数字もあるが、区を運営していく上で大事な数字なのでこつこつと貯めていく必要があると思う。ただ、区民がカルテを眺めることで、課題が見つかるようなやわらかい発信も求められると思う。特に最初のレポートは、「北区のいまの姿」のようなやわらかめのデータがよい。例えば5区を比較して、北区の特徴あるデータ情報を発信することで、北区の現状について考える材料となればよい。それを実施しながらそれぞれの活動の中で使いたい方にはエクセルの細かいデータはダウンロードして加工できるデータベースがあればいいと思う。

初めての試みなので数字を集めるのが大事だが、最初のレポートはやわらかい

形で北区の情報を発信すると思う。実は先ほどの説明の中で、「5区の中で北区が一番面積大きい」という情報があったが、私は知らなかった。知らない人がたくさんいると思うので、北区の特徴ある数字が分かるだけでおもしろい。そのような資料、ぜひチャレンジしていただければと思う。

(事務局)

カルテを作って使ってもらうことが一番重要ですので、ご意見ありましたような「興味のわく」資料作成を心掛けます。

(荒木副会長)

7つの重点項目があるが、アンケート調査のようなかたちで聞くと思う。例えば健康福祉の分野で「すべての区民が生涯を通して、住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまち」だと感じますか。という質問を5段階で評価するなど。まちに対する住民の認識を一つの資料として、住民の主観的な思いと転入転出の客観的な数字とあわせて見ていくと会長がおっしゃったようなPDCAがまわりだすと思う。

(事務局)

アンケート内容は総合計画に沿っているが、北区単独で行うと当然予算が必要になるので、検討させていただく。

(山崎委員)

この計画が8カ年計画ということで、現在の子どもたちが8年後地域の担い手となっていくことを考えると、子どもたちも分かるように北区の魅力情報を発信し続けることが大事。子どもたちが今後の北区に夢をもってもらえるようなカルテにしたい。特徴ある項目には花丸をつけたり、子どもにわかりやすいYouTubeを活用し、今の子どもたちが北区の魅力を感じながら成長してほしい。

(丸山会長)

小学生の夏休みの自由研究で、データを持ってきて北区の特徴を題材にしたり、データサイエンスの授業を小学生が行っているだろうから、その際にこの地域カルテの項目を使ってもらうとか3年後4年度できればいいなと思う。

(事務局)

これまでも学校との連携として総合学習の時間で「北区の未来」について議論してもらっている。また、まちづくりセンターの地域担当職員が講義を行っている。今後学校との連携について更に検討を深めていきます。

(宮村委員)

先ほど荒木副会長がおっしゃっているように、地域カルテの項目だけではマネジメントを測れない部分があると思う。方針達成できたかは方針に対する質

問も必要だろうと思うし、地域カルテの項目に対してこの数字が増えていることがいいことなのか、どういう課題があるから増えているのかなど検討しなければならないと思う。実際やってみないと分からないというのが実情だと思うが、やりながらこの数字になった理由は何なのかと令和9年より前にできるとより効果的な8年間になると感じる。

(丸山会長)

来年度から新総合計画がスタートすると、カルテを使った目標設定はいつくらいからしようかというような計画を出していただくといいかと思う。おそらくそれがゆくゆくは資料2真ん中の各種取組が来年度きっちりできてくると思うのでそれがどういう風に方針と関わってくるのかを明確にしていく。区での経費だけでなく熊本市全体の中で北区にはこういう配分があってここに重点がかかっているという資料をみせていただくと、この方針に向かってどう進んでいくかが見えてくると思う。

(白石委員)

地域カルテは校区の様子を校区の方に分かってもらうためや目的達成の状況把握のために利用するものと思う。保健子ども課が健康カルテを作成しており、職員の方が来年度の弓削校区の健康課題を考えて提案していただいた。そういったカルテの活用はいいと思う。どういう項目を掲げると一番ためになったかというような情報収集が今後の参考になるのではないか。

(丸山会長)

健康カルテは長いこと実施していると思うので、その健康カルテで行われているPDCAを参考にして地域カルテをどう活用するか検討すると思う。ただ現在あげているデータは取れる・取れないがあるのでまずは集められるものを集めてスタートしながら施策と連動しているものはどれなのか見極める作業もこれからだと思う。

それでは、多少の文言等々につきましては私と副会長、および事務局と話し合い確定させていただくが、大きな方向性としては問題ないと思う。ご意見ありがとうございました。

それでは、最後になりますが、その他事務局から何かありますか。

(事務局)

令和6年度北区まちづくり懇話会開催日時等につきましては、会長・副会長と調整の上、別途通知にてご連絡いたします。

(丸山会長)

本日本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。令和5年度北区まちづくり懇話会につきましては、今回が最後になります。ありがとうございました。

進行を事務局へお返しします。

(進行)

会長におかれましては、議事の進行大変ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましては、ご多忙のところご審議いただきまして誠にありがとうございました。

これをもちまして、「令和5年度 第3回北区まちづくり懇話会」を閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました。